

社会とのかかわり

当社グループは、持続可能な社会の実現が企業の成長・発展に欠かせないと認識し、製品・サービスを通して、人々の豊かな暮らしに役立つ新たな価値を提供することはもとより、企業市民としてさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

次世代支援



2015年度より、官民協働の海外留学支援制度「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」へ参画しています。これは、産業界を中心に社会で求められている人材、将来世界で活躍できるグローバル人材の育成のために、日本の各企業が寄付金を拠出し、かつ審査委員として定期的に選考等に協力することで、日本の未来を支える高校生、大学生を留学生として世界各地へ送り出すプロジェクトです。今後も本プロジェクトを通して、日本産業界の発展に貢献していきます。

また、物質科学研究所と材料科学研究所では、近隣の小学校の理科教育サポートとして、出張授業を実施しています。2015年度は、11月から1月にかけて3校を訪問し、化学への興味を高めてほしいとの想いから、身近なテーマを取り上げ、「ドライアイスマジック」、「マイクロカプセルを作ろう」と題した2つの実験を行いました。

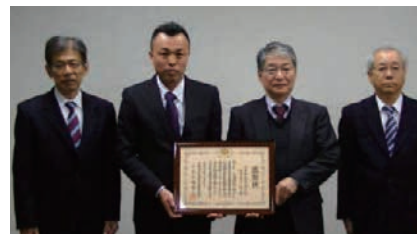


出張授業

福祉基金

当社グループは、地域貢献活動の一環として、1997年より「福祉基金」活動を行っています。社員が毎月の給与から積立を行い、それと同額を会社が上乗せした総額を地域社会の福祉に役立てていただくものです。

本活動は、本社、オフィス、工場、研究所、グループ会社毎、あるいは、合同で実施しています。実際に福祉施設を訪問し、必要とされている物品をヒアリングしたうえで、寄贈を検討するケースもあり、地域に密着した活動を行っています。



感謝状受領

企業冠賞

当社は、有機合成化学の発展に寄与するため、有機合成化学協会の企業冠賞として、「日産化学・有機合成新反応/手法賞」を2009年度に創設し、新反応・新手法に関連する独創的かつ優れた研究業績を挙げた研究者に授与しています。2015年度の実績者、東京大学・西林仁昭特任准教授の研究は、有機合成化学に留まらず、有機金属化学、錯体化学、触媒化学等の関連する領域に影響を与える独創的なものとして、国内外から高い評価を受けています。

地域住民との交流

工場では、地域住民・近隣学校を対象とした工場見学会や説明会を継続的に実施しています。とくに、防災や環境への取り組みを説明し、安心安全な工場であることへの理解の確保に努めています。このほか、工場周辺の公共道路や駅の清掃、地域住民との共同による花の植栽など、地域の美化活動に参加しています。また、生物科学研究所では、毎年11月に「収穫祭および生物供養祭」を開催しています。これは、農薬・医薬の研究開発などのために犠牲になった虫や実験動物を供養するためのものですが、現在は近隣の方々を招待し、生物科学研究所がどのような施設なのかを知っていただく機会としています。



生物科学研究所 見学風景